

術前薬物療法を施行した HER2 陽性乳癌に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年3月4日 ～ 2029年12月31日

〔研究課題〕

術前薬物療法を施行した HER2 陽性乳癌における HER2 発現の変化と予後の関連

〔研究目的〕

HER2 陽性の早期乳癌の治療では薬物療法を行った後に手術を行うことがあります。手術前の薬物療法によって、癌が消失した場合は生存率が良いという研究結果が出ています。一方で、手術前の薬物療法によって癌が消失しなかった場合に、その後の経過を予測する因子は明らかになっていません。そこで、HER2 陽性乳癌で手術前の薬物療法によって癌が消失しなかった場合の予後予測因子について検討します。

〔研究意義〕

HER2 陽性乳癌で、手術前の薬物療法によって癌が消失しなかった患者さんの再発リスクがわかることで、手術後の治療選択の一助になる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2009年1月から2024年1月までの期間に帝京大学医学部附属病院で治療した HER 陽性の乳癌患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、個人情報がわからないよう加工します。研究終了後の情報については、帝京大学臨床研究センターで10年間保管の後に廃棄します。

HER 陽性の乳癌患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 神野浩光 職名 教授
研究分担者：氏名 佐藤綾奈 職名 臨床助手
所属： 帝京大学医学部 外科学講座
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-1211 (代表)